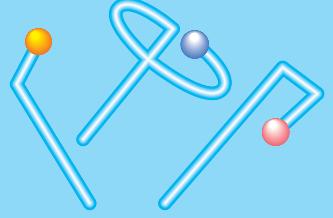


# せんдан



希望・夢・愛

一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり



## 社会福祉法人 一つ会



### 法人本部

〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地

TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740

HP : <https://www.ichiiretsukai.jp> E-mail : [itiretu@h2.dion.ne.jp](mailto:itiretu@h2.dion.ne.jp)

### 事業所一覧

せんだんの家（生活介護、就労継続支援B型）

いこいの家（施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援）

ウイズ（就労継続支援A型）

ほほえみ（生活介護）

居宅介護支援センター和らぎ（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）

ほつと（一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業）

しんぶおにい（生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援）

春日寮（施設入所支援、生活介護） かすが（短期入所、日中一時支援）

青葉（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練（生活訓練））

いずみ（共同生活援助（グループホーム））

かがやき（放課後児童クラブ）

# 前号より、35周年記念インタビュー

## 新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

一昨会では、現在も新型コロナウイルス感染症対策として感染リスクを最小限に抑えるための行動基準を定め、3密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施はもちろんのこと、事業所館内や公用車の消毒を徹底するなどの取り組みを続けております。また、外出や行事等イベントの自粛も継続して行っており、職員をはじめとして、利用者や家族のみなさま、そして関係者のみなさまにご理解とご協力をいただきながら、感染防止に努めております。

法人創立35周年を迎えた中で「地域だよりせんだん」に約40年前から今日までの節目となつた出来事等や当時の思いを、法人創立者へのインタビューを通して4回に渡り連載しています。3回目の前号では、社会福祉法人の設立における経緯や加茂地区における事業展開（せんだんの家、いこいの家、ワイズ、ほほえみ）までのお話を掲載させていただきました。今号は、三吉地区や春日地区、地域生活への事業展開の思いや願い、そして、法人35周年を迎えた職員に伝えたいことについて、ご紹介いたします。

### 一三吉地区でのしんふおにいの開所、そして春日地区での春日寮・青葉を開所された経緯についてお聞かせください

#### 小林相談役（創立者・前理事長）

加茂地区での施設整備を進めた後に制度が大きく変わろうとしていました。都市部では施設の建設用地の取得がなかなか難しい状況がありました。この頃から社会福祉施設は自分で施設整備をしなくても廃校になった学校、公共施設の建物、民間所有の物件を賃貸する等の形態でも基準を満たせば事業の認可が受けられるようになりました。

福山市に目を向けてみると市の中心部には施設はありませんでした。当時、一昨会の利用者の状況を見ても、大門や蔵王方面から加茂の施設に通われており、鞆や松永からも利用の要望がありました。通所授産施設の利用は当初、自力通所でした。大変な思いをして通所するより、多くあると思つていたことが、今のしんふおにいの開所に至りました。

既存の建物でも福祉サービスの提供が認められるように条件が緩和されてきていた中で、幸いにして福山市の中心地で4階建ての建物が見つかりました。私は

ここを「障害者総合支援センター」として色々な機能を併せ持つた多機能の施設を開所したいと思いました。最初にディサービスセンターを開所し、その次に通所授産施設の開所を計画し、2004（平成16）年9月、1階を「ディサービスセンター／くわく／（わくわく）」として開所しました。通所授産施設の整備には最低基準があり、それをクリアするためには建物の改造が必要でしたので、一年かけて最低基準をクリアするように改修整備し、2005（平成17）年4月、通所授産施設「しんふおにい」を開所いたしました。

三吉地区にしんふおにいを開所した頃、福山市から法人に対しても春日寮の移管について打診が入るようになります。一昨会は当初、移管については消極的でした。その後、福山市は県下全域の法人に対して移管先の公募をされました。募集締め切りまでの間に、今度は春日寮の保護者会から「出来たら福山市内の法人に移管してほしい、一昨会も考えていいだけないか。」とお話しに来訪された

こともあり、福山市の説明会に行きました。申請をするには、法人の理念や思い、経営方針等の考え方、また建物の図面が必要になるために新しい制度を視野に入れながら、先駆的な施設を経営している県外の施設見学にも行き、私がいいなど感じたことや法人の構想を設計士と打ち合わせながら図面に引いてもらいました。そうしていくうちに気持ちも変わり、新しい視点で法人の思いや構想を申請書に添えて提出しました。

公募に対して県下から13法人の申込みがあり、最終審査で一昨会が春日寮移管先に決定されました。



通所授産施設「しんふおにい」開所式  
2005（平成17）年4月

## 一 グループホームをはじめとした地域生活支援の取り組みについて お聞かせください

### 小林相談役（創立者・前理事長）

#### （グループホームの開所）

グループホームは、1989（平成元）年に制度化されました。地域にある一軒家等を借りる等して4名から5名の障がいのある人達が地域の中で共同生活をし、世話をと呼ばれる人が食事提供や簡単な生活上の相談やお世話をするといった形態で、施設はバツクアップ体制をとって支援するという仕組みの制度がスタートしました。一れつ会の第1号のグループホームは、1996（平成8）年9月に「よろこび荘」というホーム名を付けて神辺町東中条に開所しました。現在11ホームを運営し、59名の方が利用されています。全国的にもグループホームの利用者数は、年々増加し全国の入所施設の入所者数を上回るまでになつており、今後も益々グループホームの整備が必要になつてくると思われます。これらは、マンションのような建物で1人1人のお部屋に玄関、バス、トイレが完備されたような住まいが選ばれるようになってきています。その一方で、特に障がいの方が入居するグループホームを希望する声も高まつてくると思つております。

#### （和らぎの開所・訪問系サービス）

家族が冠婚葬祭などで障がいのある人の介護・支援ができない時は、「緊急一時保護」という形で、一時的に入所施設に宿泊（保護）されていました。そのために利用者本人が冠婚葬祭の場に参加す

るには家族が対応しなければ参加したくても参加できない状況があり、「本当は子どもも一緒に参加させてやりたいんだ。」というご家族の声が聞かれました。私は、「職員が付き添つて葬儀や結婚式に出席すればいいじゃないか。」それが当たり前のことだと感じておりました。利用者、家族の願いは多くありますたが、要望を既製品のサービス内容に合わせて、『靴に足をあわせる』ように提供するのではなく、オーダーメイドして利用者の要望に沿つた『足に靴を合わせる』ようなサービスの提供が、これからは益々必要になるという思いを強く持つようになりました。家族や利用者の願いに応えるためには、サービスがないのなら作るという思いもあり、施設に来なければサービスを受けられないという環境から、施設側から在宅・地域に無償でスタッフの派遣を行なうようにしました。こうした思いから2003（平成15）年4月に「居宅介護支援センター和らぎ」を開所し、家庭等にヘルパーを派遣し、地域で暮らす障がいのある人たちの在宅支援・地域生活を支えることに一層力を注ぐようになりました。

#### （ほつとの開所・計画相談支援事業所）

市内に点在していた相談支援事業所の相談員が、それぞれの事業所での相談活動を続けながら、2007（平成19）年に福山市に総合相談の窓口（愛称・クローバー）が設置されたことに伴い、各事業所からクローバーに相談員が派遣される

## 一 最後に法人創立35周年を迎えて職員に伝えたいことを聞かせてください

### 小林相談役（創立者・前理事長）

法人経営は、常に将来的なことを見据えて取り組む必要があると考えております。キーワードは地域貢献、地域から必要とされる社会資源・文化的な財産となるような活動の継続が益々求められると思います。ニーズも多種多様化していくものだと思います。今後、障がいのある子どもさんとその親御さんがそれぞれに介護保険や障害福祉サービスを利用して、一緒に住むような住居が必要になるのではないかと考えています。また、高齢になつて

長年利用してきた障がい福祉サービスが利用できなくなるのではなく、共生型サービスが充実することによって高齢になつても必要なサービスを継続して受けられるような制度の充実が一層進むようになります。時代の先を見据えて、早めに必要なサービスに対応できるようにする姿勢は大切だと思います。夢を実現していくということはやりがいのある仕事だと思います。

それから地域との繋がりは何より大切にし、地域の中で障がいのある人達がよ



2013（平成25）年4月に開設された個室タイプのグループホーム  
『よろこび・くればす・つばさ』

のできる心  
遣いが福祉  
の心である  
と思いま  
す。みんな  
のしあわせ  
につながる  
福祉の心の  
広がりと繼  
承を心から  
願つております。



り幸せに暮らしていけるように支援が一層充実していくようにがんばつてもらいたいと思います。地域の人達から地域になくてはならない存在として地域貢献ができる施設・事業所でなければならぬと思つています。また働く職員はそうした材に育つてほしいと思います。

最後になりますが、最初から今のように安心して働ける環境が整つていた訳ではありません。無認可時代から一生懸命実績を残して、利用者も増え次々に施設を設立できることまで大きくなりました。無認可時代から苦労して活動に参加・協力をしていたいた法人の設立当初の役員や職員、それから歴代の役員や職員、家族、地域の皆様方などなど、多くの皆様方の思いやご支援とご協力のおかげで今の一れつ会があるといふことを決して忘れてはならないということを今の職員に伝えたいと思います。

参考：文章内は、当時の施設種別名を使用しております。2003（平成15）年から法律・制度が大きく変わり、その後新しい法律・制度に基づく新事業体系への移行がすすめられ、現在は、種別名が変更になっております。

事業所名	旧施設の種別名称	現在の実施事業の名称
せんだんの家		就労継続支援B型・生活介護
しんふおにい	通所授産施設	就労継続支援B型・生活介護・日中一時支援
いこいの家	入所更生施設	施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援
ウイズ	福祉工場	就労継続支援A型
ほほえみ	デイサービスセンター	生活介護
和らぎ		居宅介護・行動援護・移動支援・重度訪問介護
ほっと		相談支援事業
春日寮	入所授産施設	施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援
青葉	—	☆新事業体系で開所 生活介護・就労継続支援B型・就労移行・自立訓練
いずみ	グループホーム	グループホーム 現在11ホームの運営

\* 入所は障害者支援施設、その他の事業所は、障害福祉サービス事業所と呼ばれ、複数の事業を実施している事業所は多機能型事業所と呼ばれています。

**重要な事は口の中を清潔にすること～そして身体も健康に～（いこいの家）**

皆さんは、口の中を清潔に保つ事と健康面には大きな繋がりがある事をご存知ですか？

『口腔の疾患はさまざまな全身疾患と関連していることが報告されており、口腔の健康状態は全身的な健康状態と密接な関連があります。そのため、口腔の健康状態を維持・改善するための歯科治療は、全身的な健康状態の維持にとって欠かせないものと考えられます』ということが、厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイトe-ヘルスネットに主書かれています。

今回は、利用者さんの口の中をきれいに保つことで、誤嚥性肺炎に罹患することが減少した取り組みについて紹介します。

3年前まで誤嚥性肺炎により入退院を繰り返されていた利用者さんがおられ、歯科医師から「食後だけではなく、食前にも口腔ケアを行うと良い。」とのアドバイスをいただきました。自分では口の中を綺麗にすることが難しい利用者さんに対して、支援員が毎食後のブラッシングに加えて、食前に口の中を専用のウェットシートで拭き取ることで、虫歯を予防すると共に口腔内の雑菌を取り除いて誤嚥性肺炎の予防に取り組みました。食前に口腔内を刺激する事は、食事を食べる前のウォーミングアップにも繋がり、その結果、その利用者さんは誤嚥性肺炎で入院することが減りました。他の利用者さんについても、誤嚥性肺炎で入院される方が、2020年の5名から2021年の2名に減り、口腔ケアが虫歯予防だけでなく、身体の健康維持にも大きな役割を担っていることを実感しました。

(いこいの家 能宗 茉由)

口腔ケアで使用している道具をご紹介！



- ①歯ブラシ
  - ②ワンタフトブラシ（歯ブラシでは磨ききれないところなどを効果的に磨くための専用道具です）
  - ③スポンジブラシ（先端がスポンジでできている棒状のブラシです。水で湿らせたスポンジ部分で頬の内側、歯茎、舌などの汚れをやさしく取り除きます）
  - ④口腔洗浄剤（適量を口に含み、20～30秒すすぎます。歯磨き後の仕上げとして使用します。洗浄作用により食物残渣や細菌などを取り除き、口腔内を清潔にします）

「リフレッシュタイム」(青葉 たいよう班)

たいよう班では、昼食後の休憩時間を利用して、各利用者さんのリフレッシュタイムを設けています。休憩時間なので、ソファーで仮眠をとられたり、パズルをされたり、利用者さんそれぞれに好きな時間を過ごされています。

その休憩時間を活用して、午後からの作業に取り組む前のリフレッシュ、手の緊張を少しでもほぐせたら…と思い、ハンドマッサージを始めました。マッサージ中には、「気持ちいい～。」「眠たくなった。」と言われている方も多く、リフレッシュされた様子で午後からの活動にも意欲的に参加される方が増えてきました。また、女性利用者さんとの会話の中で、「ネイルをしてみたい。」との希望があった為、ネイルの曜日を決めて実施しました。ネイルをする事で、「綺麗になったよ。」と笑顔になる方や、毎日の通所が難しかった方でも、今では楽しみをもって毎日通所できています。今後もリフレッシュタイムを大切にしていきたいと思います。  
(青葉 友田 華奈)



【ハンドマッサージ】  
気持ちいいなあ♪

**Food**

# 全国の『ご当地メニュー』に挑戦中！！

給食の食事内容のマンネリ化を打破するために『ご当地メニュー』への取り組みを始めました。新型コロナウイルス感染症対策により、今まで楽しみにしていた外出も我慢せざるを得ない状況が続いており、そんな我慢の中でも施設での食事は楽しみの一つです。利用者さんが楽しみにしている食事を、もっと楽しんでもらおうと、事業所ごとに食べてみたい『ご当地メニュー』を職員を通して利用者さんに聞いてもらい、その内容を参考に献立を作成し提供しています。

皆さんの反響は、食堂に入って来た途端、「わあー！！」と、歓声があがったり、「美味しかったよ！」「初めて食べた！」「また、作ってね。」「次も楽しみにしてるよ。」などの嬉しい声を頂きました。その言葉を頂いて、次はどんな企画をしようかと、私たち給食の職員も楽しみにしています。 (いこいの家 栄養士 後藤敦子)

## MENU

## メニュー紹介

**5月** [大阪]

大阪風お好み焼き



**7月** [北海道]

スープカレー



**6月** [福岡]

とんこつラーメン・ギョーザ



**8月** [沖縄]

ラフティー・ゴーヤチャンプル・  
サーダーアンダギー



**9月** [鹿児島・奄美大島]

鶏飯（けいはん）・もずく酢



**10月** [長崎]

長崎ちゃんぽん・カステラ



## 広島テレビ「24時間テレビ」チャリティー委員会様より 空気清浄器の寄贈

8月、「広島テレビ 24時間テレビチャリティー委員会」様より、空気清浄機をいすみにご寄贈いただきました。現在、湯野ホーム（グループホーム）食堂内に設置し、感染症予防等に活用させていただいている。



## ありがとうございました

(2022.7~2022.9)  
(順不同)

### ●ご寄付

- 日本生命保険相互会社様
- ヤマダ自動車株式会社  
代表取締役 山田 敏弘様
- 山田 活子様
- 松井 敦子様
- 林 邦子様

### ●ご寄贈

### 嶋 理恵様

- 寺戸 幸二様
- 土屋 康彦様
- 三枝 里美様
- 江田 知恵様
- 濱井 史恵様
- 近藤 敏宏様
- 藤井 栄子様

### 三輪 尊教様

- 高橋 雅弘様
- 清水 須美子様
- 福田 修兵様
- 松井 敦子様
- 山田 俊乃様
- 藤井 浩二様
- 信菱液化ガス株式会社神辺営業所様

### 広島テレビ「24時間テレビ」 チャリティー委員会様

- 株式会社アデリー福山支店様
- 株式会社ダスキンニコニコ様
- キャレオス(株)  
夢門塾ゆうゆう様
- 株式会社ヨシケイ福山様
- 太洋電機産業株式会社様

## 実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学

(2022.7~2022.9)

### ●実習生

- (加茂地区) 日本福祉大学様
- (春日地区) 中国短期大学様
- (加茂地区) 広島県立福山北特別支援学校様
- (三吉地区) 広島県立福山北特別支援学校様

### ●ボランティア

- (春日地区) 広島県立福山北特別支援学校様
- (春日地区) 広島県立福山特別支援学校様
- (三吉地区) 日下 清美様

## 訂正とお詫び

地域だより『せんだん』123号(2022年7月30日発行)4ページの「ありがとうございました」において、ご寄付いただいた方のお名前に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

(正) 岩木良太様 (誤) 岩本良太様

岩木様ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

## パウンドケーキ



## クッキー



## 「でりしやす」商品アピールコーナー ※全て税込み価格の表示です。

**540円(1本売り)** アーモンド、紅茶、コーヒー、ごま、チョコマーブル、ココアくるみ、はちみつ。  
抹茶あずきは620円

**120円(切り分け)** アーモンド、紅茶、コーヒー、ごま、チョコマーブル、ココアくるみ、はちみつ。  
抹茶あずきは130円。いちじくくるみは150円。秋～冬期間限定商品

**280円** プレーン、ココア、ココアアーモンド、ココアマーブル、チョコチップ、レーズン、ゴマ、ココナッツ、紅茶、抹茶の10種の味が楽しめます。

### ①パフェ

材料 パウンドケーキ、生クリーム（適量）、こしあん（適量）  
材料は好きなものを選んでみてください。

パウンドケーキは生クリームや、バニラアイスとの相性抜群です！今回はアーモンドのパウンドと抹茶のパウンドを使用し、クッキーの型を利用して型を取りました。  
コンビニでも買える冷凍フルーツや、シリアルを加えても美味しいですよ☆

### ②フレンチトースト

材料 アーモンドパウンドケーキ（切り分け 1個）、牛乳（100ml）、砂糖（小さじ2）、卵（1個）、有塩バター（20グラム）  
卵を溶いて牛乳、砂糖を溶かした卵液を作ります。

パウンドケーキ切り分けを1つを卵液に漬け、溶かしたバターを塗って焼き目をつければ完成です。粉砂糖やミントを添えても美味しいですよ。卵液に漬ける時間も短時間（20分程）で漬かって簡単です。

（せんだんの家 森山 祥子）

## 『春日寮 自立生活訓練』～入所者の方々の生活自立に向けた取り組み～

今年度から、春日寮では地域生活移行を希望される入所者の方が『自立生活訓練』として、洗濯や掃除、調理などの家事や作業に取り組みながら、自分で考えて生活する力や、周りの人と協力して物事に取り組む力などを養う活動を実施しています。

実施前には事前に、入所者の方と支援員とで取り組む内容を話し、自分が苦手にしている事、達成したい目標を考えています。実施後は支援員と共に振り返りを行い、今後の活動の課題を見つけて、次回の自立生活訓練を計画しています。

最近では、春日寮敷地内に併設している青葉B棟（生活訓練棟）にて宿泊を兼ねた訓練も行いました。入所者の方からは「料理が出来るようになった。」「グループホームでも頑張れそう。」と前向きな言葉が聞かれています。（春日寮 下江 広太）



包丁使うのは大変なんだな。



美味しくなると良いな。



自立への第一歩！



洗濯物きれいに干せています。



ピカピカに磨き上げました。

## 一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 500円／月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会（せんだんの家内）までお願い致します。TEL (084) 972-5544



「QRコード」から  
過去の地域だよりを  
ご覧いただけます。